



2022年5月24日

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

休眠預金等活用事業「誰ひとり取り残さない居場所づくり
～学びの場における子ども若者の孤立解消と育成～」
実行団体公募 内定団体の決定について

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団は、休眠預金等活用法に基づく実行団体の公募を実施し、内定団体を決定しました。

今回、12事業（12団体）の申請があり、審査の結果、3事業（3団体）、最長2年9ヶ月の助成総額4,392万円を選定しました。

※実行団体名とその事業名等は別表の通りです。

今後、内定団体は弊財団との資金提供契約を締結後、本年6月から事業を開始する予定です。

<本件に関する問い合わせ>

一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団

〒830-0048 福岡県久留米市梅満町 563

TEL : 0942-34-5600 FAX : 0942-34-5777

E-mail : kyumin@c-comfund.com (休眠預金等活用事業窓口:庄田)

(別表) 2021年度休眠預金等活用事業「誰ひとり取り残さない居場所づくり」
 実行団体公募 採択事業

事業名	いろいろどりの居場所と繋がる支援事業	
団体名	一般社団法人 家庭教育研究機構	
所在地	福岡県飯塚市	
事業の概要	<p>「もっと早く、学校に戻れたらよかった。」という、子どもたちの言葉。当法人では、学校に戻りたいと願う子どもは、8割を超える。ところが、それぞれの居場所が繋がっておらず、社会復帰を願うも、復帰までに膨大な時間を要してしまうことも多い。</p> <p>「もう疲れた。」という、保護者の言葉。周囲や家族の無理解から孤独に過ごしている親に出会う。仮に出会えたとしても、経済的理由で支援が継続できないことも多々ある。</p> <p>このような経験を通じて、本事業では、以下4点を中心とした活動を展開する。</p> <p>①学校に「校内フリースクール」を設置し、健康で安全に過ごせる居場所を学校内外に確保する。</p> <p>②相談の機会を充実させ、適切な支援先との連携を活発化する。</p> <p>③コミュニティースクールである対象校の特性を生かし、地域社会との連携力を高めると共に、不登校への理解や支援を広げ、家庭の孤立化を減少させる。</p> <p>④不登校初期からの充実した伴走支援を行う。</p> <p>また、本事業の評価をもとに、公教育における一人一人に合った支援の必要性を広く伝える。更に、学校そのものが、多くの子どもたちの居場所として存在することができる場所になることで、公教育についての考え方に一石を投じる。</p>	
事業期間	2022年 6月～ 2025年 2月	
助成額	助成金	14,000,000円
	評価関連経費	640,000円
	合計	14,640,000円
審査員講評	<p>選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案事業が実現されると社会的な波及効果が期待でき、不登校支援において学校との連携をベースにしながらのモデル事業になり得る。 ・これまでの事業実績があり、特に子どもたちの声が紹介されており、きちんと声をとらえて活動している団体と感じた。 ・経済的困窮でフリースクールをやめてしまうという子どもたちの課題に直面している中で、送迎支援など手厚くなされている。 ・本事業により経済的事情で通えない子どもたちの課題や地域的な課題を解決し、それが波及していく期待がある。 ・公教育との連携ができていることや校内フリースクールという新しいモデルを提案されている点が良い。また、公教育とフリースクールとの間のハードルを低くする事業と考える。 ・新しいモデルにチャレンジするということも休眠預金活用制度の重要な点であり校内フリースクールという取り組みは高く評価できる。丁寧に事業運営されれば、全国においてもインパクトを出せるのではないかと考える。 	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

事業名	不登校でも安心できる社会づくり事業	
団体名	特定非営利活動法人箱崎自由学舎ESPERANZA	
所在地	福岡県福岡市	
事業の概要	<p>不登校が社会課題と言われ2016年には教育機会確保法が成立した。これに関連し、福岡県内ではフリースクール等の施設数は増加し、利用者数も増加傾向にある。しかし、併せて不登校数も増加傾向の一途で、フリースクール等の利用率は大きく上がっていない状況にあり、孤立化の解消には未だ至っていない。様々な理由が存在するが、大きな課題として、民間教育施設の利用に関してその利用料の家計負担が発生する点がある。改善すべく、各所声を上げているが、未だ具体的な動きに繋がっていない。「なぜ公費投入が難しいのか?」「制度設計をおこなうにあたって何が問題なのか?」こうした点を団体の垣根を越え、調査研究する人財及び機会が必要と考え本事業の提案に至った。本事業では「フリースクール利用への公的支援制度」の策定を目指した部会立ち上げ及び事務局運営、研修会の実施をおこない、不登校理解を促進し、家計支援制度までの道筋を明確にすることを目的とするものである。また本事業の肝として担当者が有識者などではなく、日々不登校児童と関わり、保護者の相談を受けている支援の最前線に存在し、施策に声を反映させることとしている。</p>	
事業期間	2022年 6月～ 2025年 2月	
助成額	助成金	14,000,000円
	評価関連経費	640,000円
	合計	14,640,000円
審査員講評	<p>選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの事業実績が休眠預金活用事業において生かされていくと考えられ、提案事業の実現可能性が高い。不登校者を支援する団体を支援していく立場にもあり、そのネットワークから子どもたちを支えていくという視点が評価でき、社会に対して新しい価値を創る事業になるのではと考える。また、マクロな視点から社会を変えていくという取り組みで高い評価となった。 ・誰ひとり取り残さないという観点から、提案事業により対象者が取りこぼされないネットワークを広く構築していくことで、解決される課題があると考え。本申請団体は実績もノウハウもあるため、その先頭に立って事業を運営していくことができると考える。 ・行政への働きかけを戦略的に行い、公的な制度等をフリースクールに導入していくためには、提案されているような事業が重要であり、また、本申請団体のように実績やネットワークのある団体が望ましいと考える。 	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

事業名	子ども・若者に対する普通教育機会保障事業	
団体名	特定非営利活動法人 未来学舎	
所在地	福岡県久留米市	
事業の概要	<p>公立の小中学校に何らかの理由で通うことができない児童生徒、または通うことができなかった義務教育段階以降の若者に対して、本法人の活動を周知するとともに、本法人の運営するフリースクールへの通所を希望した場合、通所または通所相当の普通教育の機会を保障するための事業。定期的な相談会や説明会を実施し、送迎の課題や月謝負担の課題の解決と、発達障害にも一定程度対応したひとりひとりにあった学習方法の提供と社会への自立につながる体験活動の提供を行う。なお、通所が困難な場合はオンラインで学習支援等も行う。</p>	
事業期間	2022年 6月～ 2025年 2月	
助成額	助成金	14,000,000円
	評価関連経費	640,000円
	合計	14,640,000円
審査員講評	<p>選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な事業実績があること、ガバナンス・コンプライアンスが整っていること、先駆的な取り組みであることなどから実行団体として申し分ないと考える。 ・多様なカリキュラム、学びの場を提供しており、それぞれの子どものに合ったサポートが手厚く、このような事業がモデルとして展開されることを期待したい。 ・カフェを運営するなど地域とのつながりの場をつくり、多様な学びの場を提供できている。 ・事業自体が完成されたモデルと考えられる。また、地域とのつながりという点で最も高い評価ができ、このような団体があれば地域全体の力であったり、教育力が上がっていくのではないかと考える。このようなモデルは全国的にもないと考えられ、発信をしていくことで行政や教育委員会も巻き込んだ取り組みになると考える。 ・このような団体が地域にあること自体が素晴らしいことであり、自分達でカフェを運営するなどのチャレンジも高く評価できる。様々な取り組みがなされることで、多様な人との交流が生まれる事業と考えられる。また、代表者自身も子どもたちのロールモデルになっていくと感じる。本団体がこの地域にあり、全国的に知られていけば素晴らしいと思う。 	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。